

## 平成26年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更平成24年3月23日）

### □進捗評価シート(様式1)

#### ①組織体制(様式1-1)

1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	1・2
-------------------------	-----

#### ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	3
-------------------------	---

#### ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 東海道街道環境整備事業(太岡寺躰)	4
2 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)	5
3 「関の山車」会館整備事業	6
4 加藤家屋敷保存整備事業	7
5 亀山城関連施設復原事業	8
6 歴史的風致形成建造物修理事業	9
7 東海道関宿街道まつり	10
8 玉屋宿泊体験	11
9 亀山市納涼大会	12

#### ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進	13
2 保護事業の推進	14
3 埋蔵文化財の保護	15
4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進	16・17
5 文化財と一体となっている周辺環境の整備	18
6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進	19・20

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	21・22
⑥その他(様式1-6)		
普及啓発イベントの開催	.....	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	.....	24

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「(仮称)亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行い、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内で実施される事業については、事業調整担当室(都市計画室・まちなみ文化財室)と事業実施室との間で、事業内容等について個別に調整を進めるとともに、事業調整担当室で進行管理を行った。 【事業担当室数(累計)】 計画認定時(2室)→H21(6室)→H22(6室)→H23(8室)→H24(8室)→H25(8室)→H26(8室) 平成26年度は、担当室の名称及び数に変化はない。 進行管理・評価については、事業調整担当室と事業実施室との間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告し意見聴取した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当室の推移)			
計画認定時(H20.1) 産業建設部 まちづくり推進室 教育委員会 まちなみ・文化財室	平成21年度 産業建設部 まちづくり推進室 まちづくり整備室 産業観光振興室 教育委員会 まちなみ・文化財室 歴史博物館 教育委員会 生涯学習室	平成22年度 建設部 まちづくり計画室 まちづくり整備室 文化部 まちなみ文化財室 歴史博物館 観光振興室 教育委員会 生涯学習室	平成23・24年度 建設部 まちづくり計画室 まちづくり整備室 文化部 まちなみ文化財室 歴史博物館 観光振興室 教育委員会 生涯学習室 市民部 市民相談協働室 企画部 企画政策室
平成25・26年度 建設部 都市計画室 道路整備室 市民文化部 文化振興局 まちなみ文化財室 歴史博物館 市民文化部 関支所 観光振興室 教育委員会 生涯学習室 市民文化部 地域づくり支援室 企画総務部 企画政策室			

■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議(平成26年12月26日(金)開催)



<打合せの概要>

- ・進捗評価について
- ・平成26年度事業の進捗状況について
- ・平成27年度事業実施予定について
- ・事業全体スケジュールについて

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会  
(平成27年1月20日(火)開催)



<協議会の概要>

- ・経過報告
- ・議事  
進行管理・評価について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況

景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	<input type="checkbox"/> 実施済
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
	<input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本市では、平成23年6月に景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行う。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。

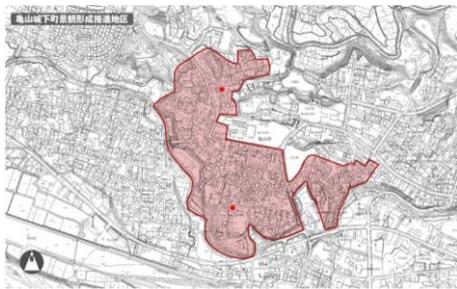
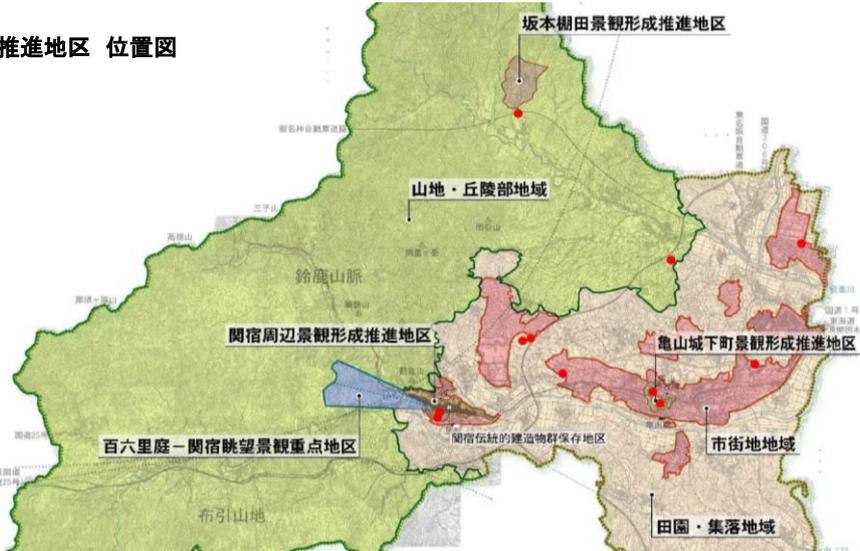
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年9月1日より、亀山市景観計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、23年度は4件、24年度は8件、25年度は4件の景観届出を審査し、申請者とは意匠形態・色彩について詳細に協議を行った。これら市景観計画による景観誘導のほか、これまで不定期で実施してきた屋外広告物のパトロールを、平成24年4月から毎月実施することとし、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。また、旧亀山城多門櫓の復原修理工事が完了したことから、平成25年4月に亀山市第1号の景観重要建造物の指定を行った。

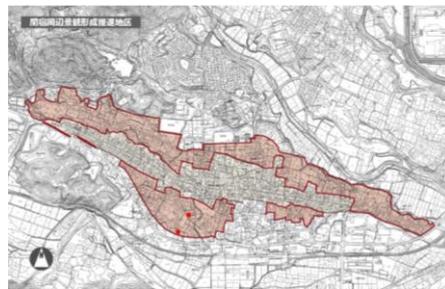
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城景観形成推進地区(上記地図の拡大)



関宿景観形成推進地区(上記地図の拡大)

■屋外広告物撤去



【撮影：平成26年7月】

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(太岡寺駅)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の太岡寺駅において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
当箇所は鈴鹿川の堤体と重複した道路であり、河川管理者と整備方針について協議が整い、平成26年度には、一部植樹可能となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		河川管理者との協議を要したため事業期間の延伸	
状況を示す写真や資料等			
<p>■太岡寺駅整備状況</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <span style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</span>  </div> <p style="text-align: center;">整備前【撮影:平成27年9月】</p> <p style="text-align: center;">整備状況【撮影:平成27年1月】</p>			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、現在検討中であり、全体の整備方針決定次第、当区間の整備を推進して行く。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在、旧東海道全体について事業期間の延伸も含め、整備方針の検討を進めている。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■野村一里塚状況</p> 			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
「関の山車」会館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24～27年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	関宿を代表する劇場であった「末広座」の建物を復原(歴史的風致形成建造物指定予定)し、内部を「関の山車」会館として整備する。整備・復原のため、旧「末広座」敷地を公有化し、埋蔵文化財調査を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・地元協議を通して伝承に対する機運が高まっており、山車の修理、学校等における伝承活動の実施等、伝承に直接的につながる活動が継続的に行われた。 ・前年度にお囃子が途絶えていた地区でお囃子が復活したことから、関宿重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念シンポジウムにおいて全地区合同でのお囃子の披露を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・平成21年度に施設の基本計画策定したものの、建設候補地の公有地化についての調整が、諸条件の整備の難航により進まず、建設地が決まらなかったため、計画通り進捗していなかったが、新たな建設候補地が浮上し、建設の見通しが立ってきたことから、計画の見直しを行うこととなった。 ・ソフト面については計画通り進捗しており充実してきた。		
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■学校等における伝承活動の実施</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学校でのお囃子の練習【撮影:平成26年7月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幼稚園での小山車曳きの練習【撮影:平成26年7月】</p> </div> </div> <p><b>■各地区の関の山車の保存伝承活動が行われた。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>関宿祇園夏祭り【撮影:平成26年7月19日】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>関宿重伝建選定30周年記念シンポジウムにおいて4地区合同でお囃子演奏(文化会館大ホール)【撮影:平成26年12月13日】</p> </div> </div>			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
加藤家屋敷保存整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20～26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	「加藤家長屋門及び土蔵」(市指定有形文化財建造物、歴史的風致形成建造物指定予定)、「加藤家主屋」(歴史的風致形成建造物指定予定)の土地の公有化を図るとともに、保存修理を行う。 公開時には、パンフレットの作成、普及啓発イベントの開催などを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成20年度に加藤家屋敷跡の公有地化を図った。 ・平成21・22年度に加藤家屋敷保存整備として、屋敷地の北及び西側の隣地との境界等に木塀を設置する等の環境整備を行った。また、屋敷地内(主屋西側)にあった昭和40年代に建てられた古家を解体し、環境整備を行い史跡の公開性が高まった。 ・平成21年度に長屋門内部に展示パネルを設置し、見学者の利便性が高まった。 ・平成22年度に主屋復元整備のための調査及び実施設計を実施した。 ・平成25年度は、主屋の復原整備工事と屋敷地内の環境整備工事を実施した。 【平成26年度の取り組み】 ・工事完成後、一般公開開始前に地元住民を対象とした内覧会を実施した。(35名参加) ・亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」の展示会場として使用。 ・地域づくり団体全国研修交流会亀山分科会会場として使用。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			
<p>■一般公開開始前に地元住民を対象とした内覧会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">地元住民対象の内覧会 【撮影:平成26年5月】</p> <p>■亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」展示</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」展示会場として使用 【撮影:平成26年11月】</p> <p>■地域づくり団体全国研修交流会亀山分科会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;">  <div style="width: 60%;"> <p>地域づくり団体全国研修交流会                              亀山分科会会場として使用                              【撮影:平成26年11月】</p> </div> </div>			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

亀山城関連施設復原事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成20～27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧亀山城内(亀山公園)、及び東海道上の、亀山城に関連する「亀山城本丸三重櫓」、「京口門」、「外堀」(歴史的風致形成建造物指定予定)について、文化財調査に基づき復原・遺構復原展示を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

京口坂西側の旧佐野家住宅(歴史的風致形成建造物)復原整備のための調査・実施設計業務を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■旧佐野家住宅



旧佐野家住宅外観【撮影:平成26年7月】

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
<b>歴史的風致形成建造物修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25～27年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・鈴鹿峠下の東海道街道沿いにある片山神社(市指定史跡)の整備を地元(氏子)が希望している。同神社は、本殿・拝殿が火災で失われているため、地元は、お参りをするための施設(祠)も含めての整備を考えている。市は、宗教施設としてのお参り施設(祠)を除く部分を、文化財として修復を行う方向で地元と協議を終えた。 ・片山神社の鳥居・門・石垣・常夜灯を歴史的風致形成建造物に指定した。 ・片山神社の鳥居・山門・石段・石積み等の復原整備工事が開始された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物に指定したものについては、計画通り進捗しているが、今後、歴史的風致形成建造物に指定する予定のものについては、修繕計画の整理が必要。		
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■片山神社(鳥居・門・石垣・石段・常夜灯)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>東海道から見た片山神社 【撮影:平成26年4月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工事完了 【撮影:平成27年3月】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>片山神社 【撮影:平成26年12月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工事完了 【撮影:平成27年3月】</p> </div> </div>			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
東海道関宿街道まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「関の山車」巡行。お囃子の発表。引き回しへの一般市民の参加。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「関の山車」保存4地区のうち1地区は長くお囃子が途絶えていたが、街道まつりで「関の山車」巡行等を行い保存伝承活動を行うことにより、お囃子が復活した。 ・街道まつりへの参加来場者数:10,000人 ・江戸時代の関宿本陣史料(川北文書)に見られる関宿本陣で宿泊した参勤交代大名の記録から、播州赤穂藩浅野家(藩主浅野内匠頭長矩)の大名行列の再現を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■東海道関宿街道まつり</p>  <p>「関の山車」巡行【撮影:平成26年11月2日】</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>大名行列再現 【撮影:平成26年11月2日】</p> </div> </div>			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

玉屋宿泊体験	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間 平成9年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財建造物を会場として利用し、関宿のまちなみについて学習することにより、昔の人々の暮らしを理解し、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし
--	------

状況を示す写真や資料等

■玉屋宿泊体験



「玉屋」についての説明 【撮影:平成26年8月】



町並みウォークラリー 【撮影:平成26年8月】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成4年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化の発表「灯踊り」(灯おどり保存会)、「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・納涼大会への参加来場者数:12,000人  
 ・多くの人々の前で演奏したり、市民が多数参加することにより、地域の伝統芸能を周知することができただけでなく、新たな担い手の育成が図られ、各保存会の活性化につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■ 亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯踊り)



葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:平成26年8月】



灯踊り(灯おどり保存会、市民総踊り)【撮影:平成26年8月】

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
<b>歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、条例にもとづく文化財としての指定を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内において、文化財の指定を進めた。 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の数】 H20:国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)→H21:国登録1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(8件)→ H22:変更なし→H23:変更なし→H24:市指定1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(9件)→H25:変更なし→H26: 変更なし ・県史跡「旧亀山城多門櫓」の構成要素となっている多門櫓について、平成26年6月23日付けで建造物単独指定の申請を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		条例に基づく文化財指定を増やしていくため、保存修理事業に対する助成制度を整備する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■県史跡「旧亀山城多門櫓」の構成要素である建造物が「亀山城本丸東南隅櫓 附 鬼瓦」の名称で県有形文化財建造物に指定された。(平成27年3月5日付け)</p>  <p>「亀山城本丸東南隅櫓」【撮影:平成26年12月】</p>			

評価軸④-2  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
保護事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するための事業を実施した。
- ・文化財の修理等に対する支援: 県指定無形民俗文化財「加太のかんこ踊り」(市場自治会)に使用される花笠の新調、市指定無形民俗文化財「獅子舞」(布気皇館太神社)に使用される獅子頭等の修理、市指定史跡「片山神社」の山門・鳥居・石段・石積み等の復原修理
- ・文化財防災のための訓練(関宿重要伝統的建造物群保存地区内伝統的建造物「瑞光寺」における文化財防火デー防火訓練)
- ・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。
- ・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施中。この調査の成果について調査報告書を作成・刊行し、国史跡指定を目指す。
- ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■文化財の修理等に対する支援



布気の獅子舞用具修理【撮影:平成26年12月】



かんこ踊り(市場自治会)用具新調【撮影:平成26年8月】

■文化財防災のための訓練



文化財防火デー消防訓練(平成27年1月24日)。  
関宿重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物「瑞光寺」境内等において消防訓練を実施した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況

埋蔵文化財の保護

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。

旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。

また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。

開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。

なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施中。この調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。現地測量調査面積：H.18年度3,800㎡、H.19年度6,000㎡、H.21年度4,300㎡、H.22年度5,200㎡、H.23年度5,200㎡、H.24年度9,000㎡、H.25年度6,000㎡、H.26年度6,000㎡

・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■埋蔵文化財の保護



鈴鹿関跡発掘調査状況【撮影：平成27年3月】

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------	---

計画に記載している内容 有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり（「関連文化財群」）としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。  
 ・旧東海道坂下宿周辺の文化財を説明しながら街道を散策。（6回：175人参加）  
 ・白川小学校（国登録有形文化財）シンポジウムを開催（平成26年10月19日）：49人参加  
 ・歴史博物館による市内小学校への出前展示等：4校  
 ・平成26年度亀山市文化財講座（鈴鹿関跡散策会）を開催（平成26年5月18日）：74名参加  
 ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催：随時

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■旧東海道坂下宿周辺の文化財を説明しながら街道を散策



坂下宿探訪：中央公民館出前講座  
【撮影：平成26年7月】



坂下宿探訪：中央公民館出前講座  
【撮影：平成26年9月】



坂下宿探訪：中央公民館出前講座  
【撮影：平成26年10月】

■平成26年度 亀山市文化財講座「鈴鹿関跡散策会」



亀山市文化財講座「鈴鹿関跡散策会」  
【撮影：平成26年5月18日】



■白川小学校公開講座



公開講座  
「昔なつかし木造校舎 来てみて知って白川小学校Ⅲ」  
(亀山市立白川小学校)【撮影:平成26年10月19日】



■歴史博物館による市内小学校及び地域への出前展示等



亀山市立白川小学校  
6年生 出前授業  
【撮影:平成26年4月28日】



亀山市立野登小学校1・2年生遠足  
(ヤマトケル、能褒野王塚古墳)  
【撮影:平成26年11月6日】



第3回加太小学校歴史博物館  
(亀山市立加太小学校)  
【撮影:平成26年11月23日】

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況

文化財と一体となっている周辺環境の整備

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容  
 関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「関の山車」山車倉に説明板を設置(4ヶ所)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

これまでの事業で、歴史的風致拠点整備が完了しつつある状況である。今後は、それらを結ぶ面的な整備計画に取り掛かりたい。

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板設置



木崎町山車倉【撮影:平成27年3月】



大裏町(北裏)山車倉【撮影:平成27年3月】



中町三番町山車倉【撮影:平成27年3月】



中町四番町山車倉【撮影:平成27年3月】

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
		現在の状況
市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財の保存及び活用は、人々に文化財に触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。  
 ・市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。  
 ・市民・地域が中心となった新たな歴史・文化資産の掘り起こし。  
 ・市民と行政との協働事業「文化財建造物活用事業」を協議中。重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われるようになった。  
 ・峯城跡(県指定史跡)保存会活動。  
 ・金王道ウォーキング。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント

■東海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)



旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示【撮影:平成27年2月】



旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示【撮影:平成27年2月】

■峯城跡保存会活動(峯城保存会)



峯城跡の地元住民が自主的に『峯城保存会』を立ち上げ、城跡への道の草刈りや城内の雑木の間伐を実施するなどして、峯城跡の歴史的環境の整備をできる範囲で実施。【撮影:平成26年11月】



『峯城保存会』が、滋賀県の近江中世城郭調査委員会『城歩会』と共に峯城跡において交流見学会を開催。他地域の城郭保存団体と交流を図ることができた。【撮影:平成26年12月】

■金王道ウォーキング(金王道ウォーキング実行委員会主催)



亀山市南部の屋生地区に残る、伝説の武将「渋谷金丸」が通ったと言われる道『金王道』を歴史ロマンに彩られた隠れ古道として顕彰し、後世に伝えるとともに屋生地区のまちづくり事業の一つとして、初夏と秋にウォーキングを実施。  
【撮影：平成26年5月・11月】

■関宿スケッチコンクール(関宿スケッチコンクール実行委員会主催)



関宿スケッチコンクール。旧落合家住宅(伝統的建造物)を整備しギャラリーとして活用。【撮影：平成27年3月】

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成26年度
1. 亀山城桜まつり本番前に万全	平成26年4月2日	中日新聞
2. ご当地アイドルも登場「亀山城桜まつり」に8,000人	平成26年4月7日	伊勢新聞
3. 絵図から郷土史探る	平成26年4月28日	伊勢新聞
4. 温故知新 街道観光の魅力 関宿	平成26年5月13日	朝日新聞
5. 関宿の路地裏など写す 写真展	平成26年5月15日	伊勢新聞
6. 絵図に見る藩政期の亀山 市歴史博物館初公開など21点展示	平成26年5月16日	中日新聞
7. 関宿の伝建選定30年 生活の中で伝統守る	平成26年5月18日	中日新聞
8. 古民家「旧館家」で地元の話など14話 民話語りの集い	平成26年5月19日	伊勢新聞
9. 関宿 重伝建 30年の歩み 来月に東京で企画展や講座	平成26年5月21日	伊勢新聞
10. 亀山トリエンナーレ「アートを街に」11月開催	平成26年5月29日	伊勢新聞
11. 亀山城惣絵図を解説 市歴史博物館で企画展講座	平成26年6月2日	伊勢新聞
12. 関宿の魅力、東京で発信 亀山市が三重テラスでイベント	平成26年6月6日	伊勢新聞
13. 日本武尊を題材 歌劇制作発表会 11月、宝塚OGと市民共演	平成26年6月6日	伊勢新聞
14. 重伝建30周年記念し舞台回し+みこし 関宿祇園夏まつり	平成26年7月2日	中日新聞
15. 明日から関宿祇園夏まつり	平成26年7月18日	伊勢新聞
16. 山車勢ぞろいで勇壮な舞台回し 亀山・関宿で祇園夏まつり	平成26年7月21日	中日新聞
17. 山車4台一斉に舞台回し 亀山関宿祇園夏まつり熱気	平成26年7月22日	伊勢新聞
18. 夜の博物館を探検 亀山歴史博 親子ら課題シート挑む	平成26年7月23日	伊勢新聞
19. ドキドキ夜の探検 亀山歴史博物館で催し	平成26年7月23日	中日新聞
20. 関宿伝統建築を守れ 地区住民ら消防訓練 亀山市消防と合同で	平成26年7月28日	伊勢新聞
21. 伊勢茶風味の「関の戸」	平成26年8月2日	伊勢新聞
22. 太鼓や総踊りに1万2000人 亀山市納涼大会	平成26年8月4日	伊勢新聞
23. 7キロの太鼓操り踊る	平成26年8月16日	伊勢新聞
24. 一文字がさ太鼓くわえ 亀山・加太板屋	平成26年8月17日	伊勢新聞
25. 剣術の上達目指す 心形刀流赤心会が合宿	平成26年8月17日	伊勢新聞
26. 坂下、加太宿も街道Tシャツ 関、亀山宿はリニューアル	平成26年8月17日	中日新聞
27. 心形刀流武芸形 亀山で合宿始まる	平成26年8月17日	中日新聞
28. 「関の戸」に新味 茶の香り	平成26年8月18日	中日新聞
29. 合戦の舞台県内にも 秀吉の天下取り 伊勢の足跡	平成26年8月31日	伊勢新聞
30. 関宿の夜空に大輪2,500発 亀山、火花に1万5千人	平成26年9月1日	伊勢新聞
31. 旧東海道の関宿描くスケッチコンクール	平成26年9月19日	毎日新聞
32. 関宿スケッチコン	平成26年10月2日	朝日新聞
33. 鉄道遺産見学しよう 亀山であす 駅サイティング祭り	平成26年10月10日	中日新聞
34. 橋やトンネル鉄道遺産紹介(JR関駅でパネル展)	平成26年10月11日	伊勢新聞
35. 列車の運転席を体験 亀山駅前まつり鉄道ファンら楽しむ	平成26年10月12日	伊勢新聞
36. 亀山の偉人紹介展 市歴史博物館 故郷との関わり追う	平成26年10月19日	中日新聞
37. 亀山出身の2人紹介 歴史博物館20周年記念 遺品や写真、70点展示	平成26年10月23日	中日新聞
38. 加藤家屋敷も舞台に 来月「亀山トリエンナーレ」	平成26年10月23日	中日新聞
39. 関宿の建造物保存地区30周年 12月にシンポ	平成26年10月31日	伊勢新聞
40. 商店街と旧家が現代美術館に「亀山トリエンナーレ」開幕	平成26年11月3日	伊勢新聞
41. 大名行列関宿を練る 亀山、街道まつりに1万人	平成26年11月3日	伊勢新聞
42. 時代行列関宿彩る 亀山街道まつり 浴衣や旅装束姿	平成26年11月3日	中日新聞
43. 商店街に文化財に現代アート 音・映像・空間構成・・・歩道に作品投影も	平成26年11月3日	朝日新聞
44. 「亀山と鉄道」写真展 トリエンナーレ 鈴鹿川の鉄橋や駅構内	平成26年11月4日	伊勢新聞
45. 旧田中家住宅で茶会 亀山・関宿	平成26年11月11日	中日新聞
46. 明日 旧亀山城多門やぐらCG投影「和」基調幻想的に	平成26年11月21日	中日新聞
47. 武將に思いはせ歩く 渋谷金丸が駆けた道「金王道」	平成26年11月26日	伊勢新聞
48. ヤマトタケル白鳥伝説 関連3市交流 亀山	平成26年12月1日	中日新聞
49. 景観と生活ともに 関宿重伝建30年 上	平成26年12月5日	中日新聞
50. 歴史に溶け込む 関宿重伝建30年 中	平成26年12月6日	中日新聞
51. 滋賀の団体が峯城跡を見学 亀山、地元団体の案内で	平成26年12月7日	伊勢新聞
52. 伝統子らに継承 関宿重伝建30周年 下	平成26年12月9日	中日新聞
53. 関宿、保存地区選定30周年 亀山市が記念シンポ	平成26年12月14日	伊勢新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史まちづくり事業において修理した歴史的建造物を積極的に活用しており、その事例が新聞等で報道された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	特になし	



	評価対象年度	平成26年度
--	--------	--------

項目

**普及啓発イベントの開催**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

旧館家住宅は、平成23年度から毎年2月・3月に「東海道のおひなさま」(亀山市観光協会主催)の会場として使用。平成26年11月には、亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」展示会場として、また、「地域づくり団体全国研修交流会亀山分科会」の会場として使用した。

旧木村邸は、平成22年度から毎年2月・3月に「東海道のおひなさま」(亀山市観光協会主催)の会場として使用。

旧亀山城多門櫓の白壁外壁にCGを投影してプロジェクションマッピングを開催。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■旧館家住宅を亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」展示会場として使用。



亀山トリエンナーレ「アート亀山2014」展示 【撮影:平成26年11月】

■旧館家住宅を地域づくり団体全国研修交流会亀山分科会会場として使用。



地域づくり団体全国研修交流会亀山分科会会場 【撮影:平成26年11月】

■旧館家住宅を「東海道のおひなさま」(亀山市観光協会主催)会場として使用。



旧館家住宅「東海道のおひなさま」【撮影:平成27年2月】

■旧木村邸を「東海道のおひなさま」(亀山市観光協会主催)会場として使用。



旧木村邸「東海道のおひなさま」【撮影:平成27年2月】

■旧亀山城多門櫓の白壁外壁にCGを投影してプロジェクションマッピングを開催。

# 法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成27年1月20日	
(コメントの概要) (全体意見) ・概ね各種事業が計画にそって進展しており評価できる。しかしながら、各種要因により計画とずれが生じてきているものは、適切に計画や事業の見直しをされたい。 ・個々の拠点となる整備が進む中で、拠点間の整備や線的なネットワークについても今後検討し全体ビジョン中で進めていってほしい。	
(個別意見) ・山車会館の候補地変更は適切と思われる。今後も着実な事業の推進を期待する。 ・加藤家に当たっては、今後も、屋敷内の整備や充実に努められたい。 ・片山神社への進入部の道路整備についても検討し進めていってほしい。	
(今後の対応方針) 計画変更や事業の見直しを適切に進める。 ・拠点間の線的な整備やネットワークについて、ハード、ソフトの両面から検討し進める。	